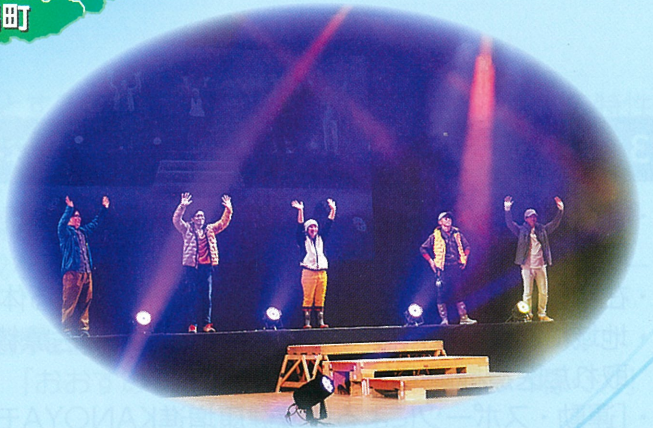


大隅地域 地域振興の取組方針

<改訂版> 概要版

～誰もが安心して暮らし、将来に希望の持てる大隅地域～



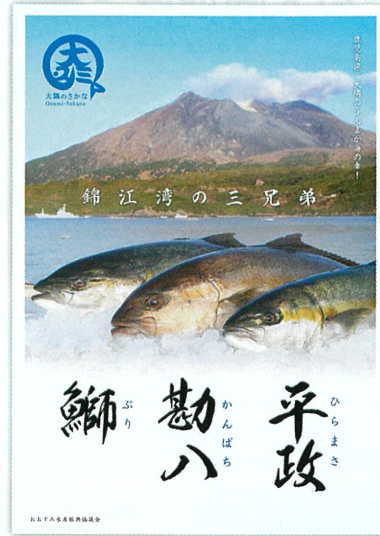
取組の基本方向



計画本体はこちら

1 大隅の魅力の発信～大隅の認知度向上

- ・国内外への情報発信によるイメージアップ、SNS等を活用した効果的かつ持続的なPRなどによる大隅の魅力の発信
- ・大隅の次代を担う青少年の育成、郷土教育の充実などによる「おおすみ愛」の醸成



水産物



佐多岬

大隅の魅力の
発信

未来を拓く
人づくり

相互関連
||
好循環

暮らしやすい
社会づくり

活力ある
産業づくり

2 未来を拓く人づくり～地域や産業を担う人材の確保・育成

- ・地域住民と外国人が共生する多文化共生の地域づくり
- ・テレワークの普及啓発など柔軟な働き方の環境整備を促進、都市圏等の人材のワーケーションによる地域との交流による人材の確保・育成
- ・大隅地域で働き暮らすことの魅力発信による若年層の地元定着
- ・地域の農林水産業を支える人材を確保するための農業、林業、水産業と福祉との連携の推進、異業種との連携など多様な人材の確保に向けた取組の推進
- ・国内唯一の国立体育大学である鹿屋体育大学、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅等の充実した施設を生かしたスポーツキャンプ・合宿等の誘致活動の推進



ワーケーション施設



ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅

4 活力ある産業づくり～「稼ぐ力」の向上

【農林水産業の「稼ぐ力」の向上】

- ・稼げる農林水産業の実現に向け、スマート農林水産業の普及による生産性の向上に向けた取組を推進
- ・志布志港からの県産農林水産物等の更なる輸出拡大に向け、小口混載物流などの取組を推進
- ・大規模畑地かんがい施設などの生産基盤の整備や土地改良施設の長寿命化を推進するとともに、畑かん営農ビジョンに基づき、生産性や収益力の高い農業の実現に向けた営農体系づくりを推進
- ・国及び業界等において「持続可能性に配慮した木材調達方針」に合致した国際的な森林認証の取得に向けた取組を推進
- ・県産水産物について、販売量増大を図るとともに、「未利用魚・低利用魚」の活用など、品目特性に応じて、付加価値を高める販売対策を講じる
- ・県産農林水産物への理解促進等の食育の推進を図るとともに、地域固有の食の魅力の掘り起こしを行い、稼ぐ力の向上を図る

【観光の「稼ぐ力」の向上】

- ・自然や環境、自転車・バイク、健康・癒しなどをテーマとする各種ツーリズムや農家民泊など、地域の特性を生かしたツーリズムを推進
- ・和牛日本一に輝いた牛肉などの大隅の豊かな食材について、観光客が堪能できるような取組を推進
- ・大隅の豊かな自然環境を体験できるキャンプ場等の整備を推進
- ・薩摩半島と大隅半島を結ぶ錦江湾内のネットワーク形成を推進し、特にマリポートかごしまへ国際クルーズ船で訪れた外国人観光客の大隅地域への誘客を図る
- ・県内各地や隣県との周遊を促進するため、他地域との連携を図る
- ・DMO ((株)おおすみ観光未来会議)との連携を図り、「おおすみブランド」を確立し、地域の「稼ぐ力」を引き出す

【企業の「稼ぐ力」の向上】

- ・ロケット打上げ施設を有する強みを生かした宇宙産業など、地域特性や企業の独自技術などを生かした新産業への支援を図る

3 暮らしやすい社会づくり～安心・安全な社会の実現

- ・社会全体で、妊娠・出産を温かく支える気運の醸成を図るとともに、市町とも連携し、妊産婦等を支援する取組を推進
- ・在宅医療と介護が一体的・継続的に提供される体制の構築を目指した取組を推進
- ・地域における医療機関の自主的な取組及び医療機関や保険者等の関係者相互の協議を促進し、バランスの取れた医療機能の分化と連携を推進
- ・「運動・スポーツによる地域健康増進KANOYAモデルの試み」などに取り組む鹿屋体育大学と連携し、住民の健康増進の取組を推進
- ・地球温暖化防止等のため、森林の適正な整備や木材利用の拡大等を行うなど、二酸化炭素の排出削減に向けた取組を推進



鹿屋体育大学

スポーツパフォーマンス研究センター



森林 (スギ林)

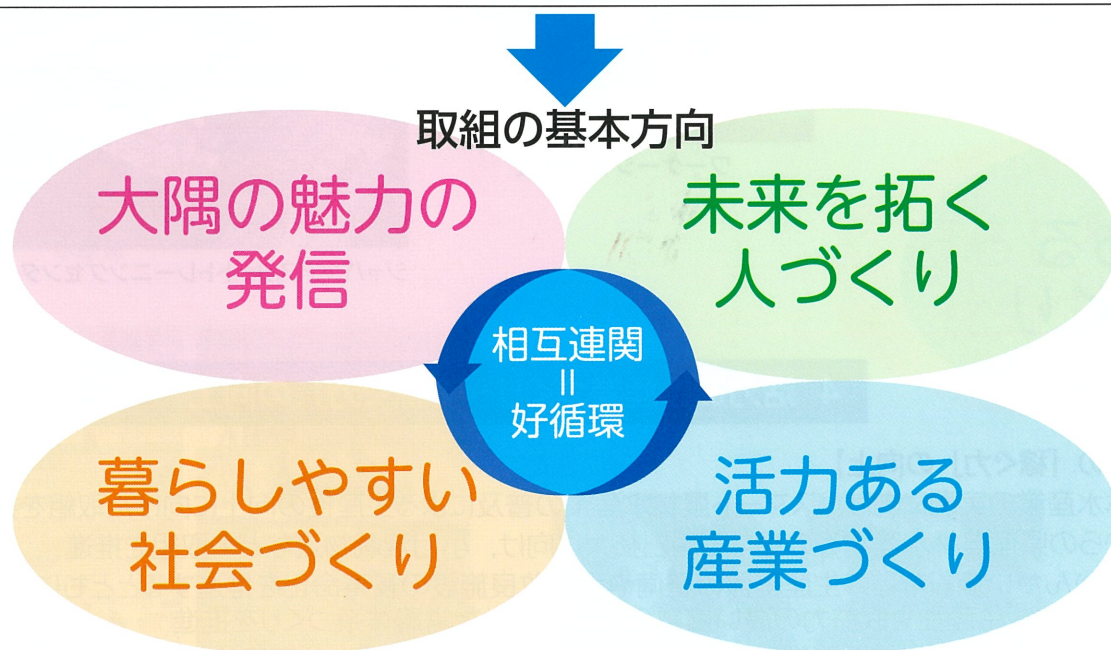
大隅地域 地域振興の取組方針<改訂版>の策定について

地域振興の取組方針の見直しについて

新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展など、社会経済情勢が大きく変化し、これらへの対応が必要となってきたことから、2022年3月に策定された「かごしま未来創造ビジョン（改訂版）」に沿って、大隅地域における特有の課題や施策展開について見直しを行いました。

時代の潮流と大隅地域の現状・課題

- (1)新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題と新たな動き
- (2)人口減少・少子高齢化の進行
- (3)経済のグローバル化の進展と社会経済環境の変化
- (4)グリーン社会・エネルギー問題への対応
- (5)国土強靱化・災害リスクへの対応
- (6)地域のつながりや教育・子育て環境の変化
- (7)地域課題の多様化・複雑化



大隅地域の目指す姿

誰もが安心して暮らし、将来に希望の持てる大隅地域

取組方針実現のために

・地域住民が主役

地域振興の主役は地域の皆様方です。

・多様な主体との連携・協働

課題の解決に当たっては、多様な主体が「自助」、「共助」、「公助」を組み合わせ、連携・協働を図りながら進めていくことが重要です。

・市町との連携

市町との役割分担の下、市町の自主性・自立性を尊重し、連携を図りながら進めていきます。

・地域を越えた広域連携

生活圏や河川流域を共有する都城圏域など他地域との連携を更に推進します。

・具体的な施策・事業等の推進

PDCA サイクルによる成果の検証など適切な管理等を行います。

・SDGs の推進

SDGs(持続可能な開発目標)の理念を地域住民と共有しながら、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決に取り組みます。

